

課題探究基礎 評価基準表

科目	授業評価	成果物評価	打って出る評価
課題探究基礎	150点/年 評価回数5回 内訳 授業レポート 30点×5 150点	300点/年 評価回数10回 内訳 ①提出物 20点×4 80点 ②提出物 30点×2 60点 ③プレゼン実習(スライド) 30点 ④プレゼン実習(発表) 30点 ⑤論文(書式・内容) 50点 ⑥発表会 50点	20点/年 評価回数1回

評価物別授業評価規準表(課題探究基礎)

評価物	A	B	C
授業レポート(30点)	課題探究の概要・意義をよく理解し、日々の探究活動に意欲的・主体的に取り組む姿勢を見せている。	課題探究の概要・意義を理解し、日々の探究活動に関心を持っている。	課題探究の概要・意義を理解せず、日々の探究活動に対する関心・意欲が低い。
提出物(20点)	課題に対して意欲的・主体的に取り組む、十分な成果を上げている。	課題に対して意欲的・主体的に取り組む、概ね成果を上げている。	課題に対して意欲的・主体的に取り組むことができておらず、成果を上げられていない。
提出物(30点)	課題に対して意欲的・主体的に取り組む、十分な成果を上げている。	課題に対して意欲的・主体的に取り組む、概ね成果を上げている。	課題に対して意欲的・主体的に取り組むことができておらず、成果を上げられていない。
プレゼン実習(スライド)	プレゼン実習に際して、事前に生徒に提示した採点基準をもとに評価を行う。		
プレゼン実習(発表)			
論文(書式)	必要な構成要素が論文中に記されており、体裁の指定も満たしている。	構成要素が論文中に概ね記されており、体裁の指定も概ね満たしている。	構成要素が論文中に不足しており、体裁の指定も満たしていない箇所が多い。
論文(内容)	資料(実験・調査の方法や結果)の分析に基づき、論理的整合性をもった考察を加えている。	概ね資料(実験・調査の方法や結果)の分析に基づき、ほぼ論理的整合性をもった記述がなされている。	資料(実験・調査の方法や結果)の分析に基づいておらず、論理的整合性にも欠ける。
発表会	発表会に際して、事前に生徒に提示した採点基準をもとに評価を行う。		